

## ICTを活用した教育体制構築に関する実証事業 報告書

<b>1. 学校名</b>
ロンドン日本人学校
<b>2. テーマ</b>
学校構内 WiFi 環境整備
<b>3. 取組の概要</b>
(※報告書の内容を要約し、200～400 字程度で記載してください。)
この度の新型コロナによる学校閉鎖で改めて露呈した ICT 環境の脆弱さを補強するため、児童生徒各自にタブレットを配布してすべての教室において WiFi によるインターネットへの接続を可能とし、日常的に ICT を活用した授業を実施することで、次の非常事態時でも家庭における学習指導を可能とする。また英国政府の指示により他学年との交流が禁じられていることから、運動会や文化祭などの全校で取り組む行事は開催が不可能となっており、全校一体感を体得出来るイベントをオンラインを活用して実現する。
<b>4. 取組の背景・目的</b>
(※非常時でも途切れない「学びの保障」の在り方と関連づけて記述してください。)
<ul style="list-style-type: none"> <li>本校では既に Google Classroom を基盤としたオンライン教育体制を構築しており、学校-児童生徒-家庭間の実践を重ねている。しかしながら、肝心の各校舎内教室においてネットに接続できる環境への設備投資がなされておらず、ICT を活用した教育活動が停滞する状況が続いている。</li> <li>言うまでも無く、ICT を利用して情報を収集し有効に活用する能力、オンライン上でも課題の克服や目標達成のために他者と協働していく力等を育成することは、これから生きる子供達に必須である。上記のとおり、今回のコロナ禍を通じて一層明確となった本課題の解決には、喫緊の取組を必要とする。これからの教育におけるネット接続環境は、教室の黒板やチョーク、或いはホワイトボード等と同様の必須の環境と考える。</li> <li>本校の現状としては、10年以上前に整備された英会話教室におけるネット接続設備以外、各普通教室・特別教室でネット接続のための設備投資は行われず、一切のネット接続ができない環境である。まず、校舎が築120年と古く且つ広いため、全ての教室に安定した WiFi を備えるためには、全校各教室にイーサネットケーブルを敷設する必要がある。次に、入り組んだ配置となっている各教室において十分な接続速度が得られるよう調査のうえ、WiFi アクセスポイントを設置する。その上で、教師用校内サーバー接続等のセキュリティを踏まえた設定を行う。</li> <li>通常時、授業において既に整備済みの大型 TV・タブレット端末を接続し、ネット上の資料活用、課題配信、Flipgrid 等のアプリを利用したオンラインでの児童生徒相互の学習活動等を実践する。</li> <li>10月には本校で「オンライン全校レクリエーション大会」を策定中である。現在本校は、今回の新型コロナ禍により、英国教育省の示す指針のために学年以上の規模での児童生徒の集団による教育活動が禁止された状況にある。このため、本校の合い言葉「自立・貢献」を実現する大きな鍵である二大行事「運動会」「文化祭」を開催できず、児童会・生徒会活動や全校集会等も行いうることができない。このような中、全校各学年を紅白にチーム分けし、学年での取組や紅白対抗戦の様子をオンラインを通じて教室や保護者に配信し、直</li> </ul>

接顔を合わせることなく互いに練習でアドバイスしたり、励ましあい、応援しあったりすることを通じて「貢献」につながる取組を目指すものである。(添付資料:職員会議資料)

・いわゆる新型コロナ「第2波」により、再び学校閉鎖を余儀なくされ、これまでのように限られた数の英会話教室や家庭用 WiFi 機器を通じた不安定な配信によることなく、各教室で各担当教師が創意工夫した家庭向けオンライン授業実践を配信する。

## 5. 取組の実施日程

日程	取組内容
2020年7月	IIJ(WiFi 設置業者)による現状確認、WiFi アクセスポイント設置箇所の決定、見積もり受領
8月	LAN 配線工事、WiFi アクセスポイントの設置
9月	10月のイベントリハーサル、ファイアーウォールの能力ボトルネック問題が判明
10月	ファイアーウォールアップグレード、10月25日レクリエーション大会実施
11月	オンライン保護者面談 オンライン調理実習 Flipgrid を利用して、国語授業で読み聞かせ、児童会の取組紹介
12月	日常の授業で WiFi 環境を使用 WiFi を利用し Google Meet で生徒総会 録画動画を各教室に配信して終業式を実施
2021年1月	新型コロナウイルス第2波の影響で3学期開始前から学校閉鎖
2月	ZOOM によるオンライン授業を1日4校時で実施

## 6. 具体的な取組内容 (※詳細に記載し、付属資料があれば添付してください。)

**10月25日:レクリエーション大会実施**(添付資料ロンドン日本人学校だより11参照)。

**11月6~17日:オンライン保護者面談を実施**

コロナ禍による英国政府の規制で保護者は校内に立ち入ることができないため、各学年・学級とも、担任が自分の学級から校内 WiFi を通じてオンラインで面談を実施した。

**11月9日:調理実習**

コロナ禍のため、飲食に関わる教育活動を停止しており、小学部・中学部でも児童生徒が楽しみにする調理実習が実施できない。この日の家庭科では、調理に関わる様々な用具を実際に家庭科室で準備し、その調理用具について校内 WiFi 環境を通じてネットで調べた情報も含め、短時間でまとめた。その後、その調理用具を他の人に紹介する内容をタブレット端末で動画に録り、校内 WiFi を通じて接続された“Flipgrid”を使って皆で共有し、お互いに紹介を見あうという活動を行った。



### 11月30日：小学部児童会 特別中央委員会を開催

児童会中央部と5・6年各学級代表委員による「特別中央委員会」が、児童生徒会室と5・6年各教室を校内WiFiを通じGoogle Meetで結んでの話し合いを実施した。それぞれの児童は画面を前に堂々とした発表を行った。



### 11月30日：本校教職員がFlipgrid研修を実施

既にいくつもの学年で活用されている教育用動画共有アプリ「Flipgrid」について、これから活用してみたい教師が参加して研修会を実施した。



### 11月30日～12月11日：生徒総会の取組

生徒総会の取組として、各学級や専門委員会から出された意見を元に、生徒会執行部が内容を検討した。異なる学年を交えた活動ができないため、生徒会執行部や各専門委員は学年ごとに別の教室に集まり、学年ごとにGoogle Meetでつなぎ、話し合いを実施した。



### 12月18日：学年集会 みんなで考えよう インターネットの使い方

第6校時、小5A・B合同で学年集会「みんなで考えよう インターネットの使い方」を実施し、校内WiFiを通じインターネット上から入手した情報提示を行った。



## 1月8日～:オンライン授業

コロナ禍によるロックダウンに伴い、3学期当初から全校でオンライン授業実践となった。基本的に、各教師はそれぞれの教室にPCやタブレット等の配信機器を設置し、整備したWiFi環境を利用して配信している。



## ロン日自習室

各学年、4校時のオンライン授業の後に「ロン日自習室」の時間を設けた。この時間、参加は任意で児童生徒は自分自身の課題に取り組み、質問等があれば画面越しに教師に質問することができる。



## 7. 取組の成果

(※どのような課題をどのように解決したかや、生徒・児童への効果等について詳細に記載し、成果物があれば添付してください。また成果がどのような観点で他の学校の参考になるかも記載してください。)

- 1学期、各校舎内教室においてネットに接続できる環境が無かったため、既に構築されていた Google Classroom を基盤としたオンライン教育体制を十分に活用できていなかった課題については、本事業によって整備された WiFi 環境によりすべて解決した。
- 2学期当初から、学校はほぼ通常通りの日課で再開された。この中で、授業において既に配備済みの大型 TV・タブレット端末を接続し、ネット上の資料活用、課題配信、Flipgrid 等のアプリを利用したオンラインでの児童生徒相互の学習活動等を実践することができた。このことによる児童生徒の学習の充実、ICT 活用能力の向上については、2020 年12月に実施された「学校・教育評価アンケート」の保護者の調査結果の中で、「学校は、学校閉鎖中の学習保障及びその後の学習ツールとしてグーグルクラスルームを活用している」という質問項目に対する肯定的評価が 87.1%、「我が子は、グーグルクラスルームやウェブ会議システムなどを含めた、パソコンやタブレットを使った学習をすることで ICT 活用能力が向上したと感じる」に対する肯定的評価 91.8%、児童の調査結果では、「パソコンやタブレットを学習で使えるようになったと感じる」肯定的評価 88.3%、他の内容に示されている。(添付資料:「学校・教育評価アンケート」参照)
- 2学期は、ほぼ通常通りの日課ではあったものの、英国政府による感染防止策として学年以上の集団での交わりを禁止されていたため、ほとんどの行事が中止となった。そのような状況で、学校としての一体感を感じさせ、異学年間を含め児童生徒が互いに関わる力を育むことを目指し、「異なる学年集団が顔を合わせずに全校行事を実施する」コンセプトの下、10月に本校で「オンライン全校レクリエーション大会」を開催した。(添付資料ロンドン日本人学校だより 11 参照) このことは、児童生徒、保護者、関係諸団体から極め

て高い評価を得た。

- ・3学期、再び学校閉鎖を命ぜられることとなり、事業によって整備した WiFi 環境をフル活用し、各教室から各担当教師が創意工夫した家庭向けオンライン授業を配信することができた。同様の状況にある近隣の現地校での授業実践と比較して、きわめて手厚く、行き届いた教育が行われている、と非常に多くの保護者から感謝の声が寄せられた。

## 8. 今後の課題・展望

(※次年度以降への継続性及び発展性に言及してください。)

- ・新年度4月からは、小4以上の全ての児童生徒にタブレット端末を配付し、学校、家庭での学習に活用する計画である。学校・教職員・児童生徒が、今年度培った ICT 活用能力を一層発展させられるよう、本校研究課題の中心に据えて取り組んでいく。

## 9. 所感

コロナ第2波及び変異種の出現による3回目のロックダウン及び学校閉鎖という事態に際して、粛々とオンライン授業を実施することが出来ているが、第1波のロックダウン時に経験した混乱を思い出し、もし全館 WiFi 設置をしていなかった場合の混雑はいかばかりであったかと戦慄を禁じえない。ICT 教育充実の要望が高まり始めてからかなりの時間が経過しているが、今回のコロナ禍を機に補助金を得て一気に推し進めることが出来たのは幸運であった。

※提出いただいた報告書や成果物は、本事業の取組成果として公開する予定です。また、記載いただいた内容は文部科学省や海外子女教育振興財団のその他の資料にも使わせていただく可能性があります。

※記入欄は適宜拡張してください。